



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社ダイセル  
 コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小河 義美  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-6711-8121  
 2019年12月3日

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	210,681	△10.4	17,858	△39.5	18,658	△42.1	11,683	△47.8
2019年3月期第2四半期	235,242	2.7	29,515	△6.3	32,244	△2.7	22,394	14.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 6,758百万円 (△77.0%) 2019年3月期第2四半期 29,431百万円 (0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	35.96	—
2019年3月期第2四半期	66.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	630,953	415,562	61.3	1,198.71
2019年3月期	654,791	423,243	60.1	1,198.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 386,652百万円 2019年3月期 393,597百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2020年3月期	—	16.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	18.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	431,000	△7.3	36,000	△29.6	38,000	△28.9	21,500	△39.1	66.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	331,942,682 株	2019年3月期	331,942,682 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	9,385,378 株	2019年3月期	3,609,174 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	324,950,291 株	2019年3月期2Q	338,138,873 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦の深刻化、中国景気の減速、日韓関係の悪化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高2,106億81百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益178億58百万円（同39.5%減）、経常利益186億58百万円（同42.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益116億83百万円（同47.8%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### [セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、たばこフィルター用途の販売数量が減少し、減収となりました。

たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客でのシェア拡大や新規顧客開拓に取り組んだことにより、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

当部門の売上高は、378億24百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は、酢酸セルロースの販売数量の減少などにより、63億23百万円（同26.3%減）となりました。

#### [有機合成事業部門]

主力製品の酢酸および合成品は、市況の下落および中国の景気減速の影響による国内外の販売数量の減少により、減収となりました。

機能品は、中国の景気減速の影響により販売数量は減少したものの、エポキシ化合物の販売が好調に推移したことにより、全体の売上高は横這いとなりました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、新規事業は順調に伸びたものの、充填剤の販売が減少したことにより、減収となりました。

当部門の売上高は、410億70百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は、製品市況の下落などにより、53億93百万円（同23.9%減）となりました。

#### [合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチック事業は、中国の景気減速による自動車、スマートフォンなどの需要低迷の影響により、減収となりました。

ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、中国の景気減速の影響などにより、販売数量が減少し、減収となりました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主に高機能フィルムの販売が増加したものの、シートなどの販売が減少したことにより、減収となりました。

当部門の売上高は、845億6百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は、販売数量の減少などにより、116億99百万円（同1.6%減）となりました。

#### [火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などの自動車安全部品事業は、新車用通常ビジネスにおいては、国内向けが好調に推移したことにより、販売数量は増加しましたが、他社リコール代替品供給が終息に向かっており、全体としては販売数量が減少し、減収となりました。

防衛関連製品などの特機事業は、販売数量の増加などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、422億65百万円（前年同期比23.9%減）、営業利益は、自動車エアバッグ用インフレータの販売数量の減少などにより、23億20百万円（同76.4%減）となりました。

#### [その他部門]

その他部門は、前年度に買収した海外の製剤事業会社が寄与したことなどにより、増収となりました。

当部門の売上高は、50億14百万円（前年同期比68.9%増）、営業利益は、2億66百万円（同21.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、有形固定資産等の増加がありましたが、現金及び預金や受取手形及び売掛金等の減少により、前連結会計年度末に比し238億38百万円減少し、6,309億53百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金等の減少により、前連結会計年度末に比し161億57百万円減少し、2,153億90百万円となりました。

また純資産は、4,155億62百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,866億52百万円となり自己資本比率は61.3%となりました。

## ② 当期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,056億83百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は352億99百万円（前年同期は、269億41百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益204億34百万円および減価償却費145億17百万円であり、資金減少の主な内容は、仕入債務の増減額80億91百万円および法人税等の支払額72億22百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は291億73百万円（前年同期は、241億18百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出284億25百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は182億2百万円（前年同期は、249億73百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、自己株式の取得による支出61億円、配当金の支払額52億50百万円および非支配株主への配当金の支払額28億33百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、前年同期比減収減益の業績予想のなかで、さらなるコストダウンなどに取り組んだものの、中国での景気減速など想定以上の経済環境の悪化や、為替が円高で推移したことにより、業績予想に対して、減収、減益となりました。当第2四半期連結累計期間の経営成績および経済環境の不透明感が続いていることを踏まえ、2019年5月9日に公表した2020年3月期通期業績予想を以下のとおり修正しております。引き続き、鋭意コストダウンなどに取り組み、業績回復に向け、邁進してまいります。

## &lt;2020年3月期の連結業績予想&gt;

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	461,000	43,000	45,000	26,500	80円71銭
今回発表予想 (B)	431,000	36,000	38,000	21,500	66円65銭
増減額 (B-A)	△30,000	△7,000	△7,000	△5,000	
増減率 (%)	△6.5	△16.3	△15.6	△18.9	
(ご参考) 前期実績	464,859	51,171	53,433	35,301	105円38銭

※1. 業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

※2. 今回発表予想の第3四半期以降の前提につきましては、為替相場は105円/US\$、メタノールアジアスポット価格はUS\$300/ton、ドバイ原油価格はUS\$60/bbl、国産ナフサ価格は40,000円/k1を想定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	114,044	100,767
受取手形及び売掛金	90,173	77,318
有価証券	6,230	6,037
たな卸資産	126,153	118,189
その他	17,504	17,036
貸倒引当金	△67	△109
流動資産合計	354,038	319,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,387	61,650
機械装置及び運搬具(純額)	72,920	72,392
土地	26,931	28,990
建設仮勘定	31,630	47,178
その他(純額)	5,561	5,346
有形固定資産合計	197,432	215,559
無形固定資産		
のれん	3,832	3,322
その他	8,835	8,821
無形固定資産合計	12,668	12,144
投資その他の資産		
投資有価証券	68,018	64,283
その他	22,802	19,778
貸倒引当金	△167	△54
投資その他の資産合計	90,652	84,007
固定資産合計	300,753	311,711
資産合計	654,791	630,953

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,933	44,383
短期借入金	9,965	5,452
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	8,285	9,286
未払法人税等	4,008	2,988
修繕引当金	2,828	1,303
その他	36,487	36,363
流動負債合計	125,509	109,778
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	36,043	34,843
繰延税金負債	7,673	8,292
役員退職慰労引当金	55	54
修繕引当金	13	283
環境対策引当金	5,265	4,761
退職給付に係る負債	12,430	10,899
資産除去債務	1,256	1,213
その他	3,298	5,264
固定負債合計	106,038	105,612
負債合計	231,547	215,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,692	31,692
利益剰余金	294,149	300,555
自己株式	△4,344	△10,263
株主資本合計	357,772	358,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,024	26,887
繰延ヘッジ損益	13	△32
為替換算調整勘定	4,968	△659
退職給付に係る調整累計額	1,817	2,196
その他の包括利益累計額合計	35,825	28,391
非支配株主持分	29,645	28,910
純資産合計	423,243	415,562
負債純資産合計	654,791	630,953

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	235,242	210,681
売上原価	165,580	152,037
売上総利益	69,662	58,644
販売費及び一般管理費	40,146	40,785
営業利益	29,515	17,858
営業外収益		
受取利息	172	239
受取配当金	830	802
持分法による投資利益	924	965
為替差益	965	—
その他	1,171	655
営業外収益合計	4,063	2,662
営業外費用		
支払利息	606	627
為替差損	—	884
環境対策引当金繰入額	298	—
その他	429	350
営業外費用合計	1,334	1,862
経常利益	32,244	18,658
特別利益		
固定資産処分益	7	39
投資有価証券売却益	2,985	2,380
受取保険金	1,006	—
特別利益合計	3,999	2,420
特別損失		
固定資産除却損	570	643
災害による損失	577	—
特別損失合計	1,147	643
税金等調整前四半期純利益	35,096	20,434
法人税、住民税及び事業税	9,402	3,193
法人税等調整額	△722	1,775
法人税等合計	8,679	4,969
四半期純利益	26,417	15,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,022	3,781
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,394	11,683



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	26,417	15,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	826	△2,160
繰延ヘッジ損益	52	△79
為替換算調整勘定	2,199	△6,282
退職給付に係る調整額	102	400
持分法適用会社に対する持分相当額	△167	△584
その他の包括利益合計	3,014	△8,707
四半期包括利益	29,431	6,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,826	4,250
非支配株主に係る四半期包括利益	4,605	2,507

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	35,096	20,434
減価償却費	14,659	14,517
のれん償却額	245	362
受取利息及び受取配当金	△1,002	△1,041
支払利息	606	627
持分法による投資損益 (△は益)	△924	△965
固定資産除売却損益 (△は益)	563	603
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,985	△2,380
売上債権の増減額 (△は増加)	903	11,171
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,023	5,761
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,201	△8,091
その他	△514	830
小計	33,422	41,831
利息及び配当金の受取額	1,533	1,344
利息の支払額	△620	△653
法人税等の支払額	△7,394	△7,222
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,941	35,299
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,525	△28,425
有形固定資産の売却による収入	9	79
無形固定資産の取得による支出	△1,191	△1,230
投資有価証券の取得による支出	△97	△258
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,207	3,248
関係会社出資金の取得による支出	△2,229	—
貸付けによる支出	—	△435
貸付金の回収による収入	242	43
その他	△1,534	△2,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,118	△29,173
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	695	△4,108
長期借入れによる収入	218	2,161
長期借入金の返済による支出	△1,891	△1,762
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△4,679	△6,100
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△5,419	△5,250
非支配株主への配当金の支払額	△3,897	△2,833
リース負債の返済による支出	—	△308
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,973	△18,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	570	△2,256
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△21,581	△14,333
現金及び現金同等物の期首残高	128,290	120,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	106,708	105,683

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	42,043	45,133	89,570	55,526	232,272	2,969	235,242	—	235,242
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,508	10,633	9	—	12,152	5,564	17,716	△17,716	—
計	43,551	55,766	89,579	55,526	244,424	8,534	252,959	△17,716	235,242
セグメント利益	8,575	7,088	11,895	9,821	37,380	219	37,599	△8,083	29,515

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,083百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究および管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	37,824	41,070	84,506	42,265	205,666	5,014	210,681	—	210,681
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,453	8,192	3	—	9,650	5,515	15,166	△15,166	—
計	39,278	49,263	84,509	42,265	215,317	10,530	225,848	△15,166	210,681
セグメント利益	6,323	5,393	11,699	2,320	25,737	266	26,003	△8,145	17,858

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,145百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究および管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。